

平成 27 年 10 月 9 日

H27 年度 第 26 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会実施報告書

実施日： 平成 27 年 7 月 17 日～18 日

会場： 伊万里グランドホテル（佐賀県伊万里市新天町 466-11）

参加者総数： 87 名（学生 71 名、教職員 16 名）

担当校： 佐賀大学

実行委員長	川喜田 英孝	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
	大渡 啓介	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
学生幹事 代表	高岡 祐士	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
庶務	上田 祐生	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
	首藤 俊介	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
	角 崇弘	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
	村上 浩	佐賀大学大学院工学系研究科	化学工学研究室
	梶原 孝文	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	黒岩 春乃	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	下條 健典	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	中嶋 いづみ	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	廣本 哲	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	水城 恵梨奈	佐賀大学理工学部	化学工学研究室
	宮井 翔太	佐賀大学理工学部	化学工学研究室

討論会実施内容

会場制の合宿形式で行った。別紙1に示すプログラムに従い、第1日目は、学生企画、工場見学を行った。第2日目はポスター発表を実施したのち、総合討論を行って本会を閉会した。本会の会計報告書を別紙3に記載する。

学生企画 「バルーンを飛ばそう」

大学をまたいで、6人程度のグループをつくり、共同でバルーンを作成し、着地時間を競うという企画を行った(図1)。佐賀県で毎年行われるバルーンの大会にちなんだ企画であった。あらかじめバルーン作成用の素材を用意し、1時間弱の時間のなかで共同でバルーンを作成し、バルーンの着地時間を競う企画であった。羽の角度や飛ばし方など、チームで協力しながら知恵を絞って学生は作成しており、その後のポスターセッションではより踏み込んだ内容での討論ができるような環境を提供することを目的とした。バルーンのできは素晴らしいものにはならなかったが、学生同士の交流には成功した。時間をかけることができればさらに良いバルーンができたという意見もあつ

た。

工場見学(株式会社 香蘭社、岩尾磁器工業株式会社、佐賀県窯業技術センター)

参加者を3グループに分けて、バスで2ヶ所の工場および窯業技術センターに行った(図2)。香蘭社に20名、岩尾磁器工業に20名、窯業技術センターに40名で見学を行った。香蘭社では、明治時代以前から利用している工場の雰囲気や、碍子という半永久的に使用できる碍子の作成過程、また普段は見るできない陶磁器を見学することができた。岩尾磁器工業では、ハニカム構造の作成や陶磁器を見学することができた。また、窯業技術センターでは、佐賀県がこれまで培ってきた窯業やファインセラミックスの製造や研究に関する見学を行った。

ポスター発表

7月18日9:00からポスターセッションを実施した(奇数番60分+偶数番60分)(図3)。学生ポスター発表の審査対象は65件であった。参加者全員が審査員となり、教員票は学生票の3倍の得点として投票によりポスター審査を実施し、上位11名をポスター賞受賞者として選出した(別紙4)。閉会式にポスター賞受賞式を行い、賞状と副賞(図書券3,000円)を授与した。

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行ってから、本会を閉会し、集合写真を撮影して解散とした。次回第27回大会は九州大学 河邊 佳典助教を世話人として開催される予定である。

(別紙1)

第26回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 プログラム

【第1日目 平成27年7月17日(金)】

12:00～13:00 参加受付

13:00～14:00 学生企画

「バルーンを飛ばそう」

14:00～17:15 工場見学(株式会社 香蘭社、岩尾磁器工業株式会社、佐賀県窯業技術センター)

18:30～20:00 親睦会

【第2日目 平成27年7月18日(土)】

9:00～11:30 ポスター発表

学生の発表は前半・後半に分け1時間ずつの発表となります。

12:00～12:30 総合討論・表彰式・閉会式

(別紙 2 - 1)



図 1 学生企画の様子



図 2 工場見学の様子

(別紙 2 - 2)



図3 ポスター発表の様子



図4 集合写真の様子

(別紙3)

第26回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 会計報告

○支出		○収入	
会議室料	10000	九州支部 討論会補助金	150000
会場使用料	15000	学生企画 補助金	100000
要旨集印刷・製本料	82296	南九州化学工学懇話会	100000
親睦会費	327864	石油学会ジュニアソサイアティ	20000
宿泊費	452850	学生参加費(8000円) 71名	568000
図書カード	9000	教員参加費(14000円) 16名	224000
アルバイト料	138000	教員参加費(不泊)(10000円) 1名	10000
保険(振込料込み)	27615	企業広告(7社)(一社15000)	105000
学生企画費	65666	利息	6
バス使用代	145800	収入計	1277006
振り込み	1620		
支出計	1275711		
		次年度繰越(収入計-支出計)	1295

(別紙4)

第26回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ポスター賞受賞者

No.	氏名	所属	演題
11	小野 章彦	九州大学	環境応答型遺伝子発現システムを用いた細胞センサーシステムの開発
18	内藤 翔乃	九州大学	酸化還元応答性ハイドロゲル内での3次元培養によるスフェロイドの作製
24	三好 孝明	九州大学	熱駆動プロトン輸送によるエネルギー変換システムの開発
26	片上 将	九州大学	標的ペプチドと特異的に相互作用を示す高分子アプタマーの開発
35	宮田 英和	鹿児島大学	微粉系流動層においてモル数が増加する場合の気泡挙動
43	澄川 佳史	熊本大学	マイクロ波を用いた炭素系触媒法によるバイオディーゼル製造技術の開発
44	高橋 奈央	熊本大学	SCO ₂ 乾燥法を用いた海洋系エアロゲルの開発
53	稲田 飛鳥	宮崎大学	難水溶性薬物の溶解性向上に寄与するペプチドの開発
62	平牟礼 結比	宮崎大学	リポソームのクライオゲルへの内包固定化
63	高岡 祐士	佐賀大学	ゲル粒子積層構造による可変なゲル間隙を用いた分離
64	首藤 俊介	佐賀大学	ゲル微粒子を保護材としたPtナノ粒子の液相還元合成における気泡の影響